

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

常に前向きな姿勢で未来に夢や希望をもち、

- 自他ともにかけがえのない存在であることを自覚し、感謝の心・思いやりの心を育み、礼儀をわきまえ「人」としての心を大切にする学校。
- 自主的に考え判断し、決断したことは積極的かつ誠実に実行する、その結果について責任をもち、失敗を恐れず努力し続ける生徒を育てる学校。
- 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培い、社会の構成員としてともに生きる心を養うべく社会奉仕の精神の涵養を育む学校。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成と進路実現

(1) 学習指導要領を踏まえた創意工夫にもとづく教育活動の充実を図る。

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。
- イ 「観点別学習評価」による【計画⇒実践（指導）⇒評価⇒改善】により摂津高校の学びに応じた評価の『信頼性・妥当性』を高める。
- ウ 1人1台端末をはじめとするICTを効果的に取り入れ、一斉指導、個別学習及び協働学習を組み合わせる等により学びの深化を図る。
- エ 生涯にわたって探究を深める未来の創り手として「SDGs」を取り入れた探究活動を推進する。
- オ 「成年年齢18歳引き下げ」に伴い、生徒一人ひとりに社会で求められる資質・能力を育成する。

(2) 自主性・自立性を育成するキャリア教育の推進

- ア 3年間を見通した進路ガイダンス機能の充実を図る。
- イ 生徒の進路希望に応じたきめ細かな情報提供をおこなう。
- ウ 進路実現のための講習支援体制の充実（3年）を図る。
- エ 長期休業中等における質の高い集中講座を計画的・継続的に実施（1.2年）する。
※難関私立大学合格者数（R02：47人/345人、R03：93人/299人、R04：95人/303人）前年度率を上回る。
※学校教育自己診断「学校の進路指導は、進路選択・進路実現に役立っている」肯定的回答率（生徒：R02：88%、R03：83.4%、R04：83.7%）⇒80%以上を維持、（保護者：R02：80%、R03：75.2%、R04：80.0%）⇒80%以上を維持

2 豊かな心、たくましい人間性の涵養と安全安心な魅力ある学校づくり

(1) 規範意識の醸成を図り規律ある安全安心な教育環境を確保する。

- ア あいさつ、時間厳守、身だしなみ等規範意識の醸成を図る。
- イ 交通安全マナーの向上を図る。
※遅刻総数の減少（R02：873回、R03：725回、R04：856回）⇒前年度減

(2) 安全で安心な学校生活の推進

- ア 人権尊重の教育の推進により生命や自他ともに大切にする心を育て人権侵害を許さない学校体制を確立する。
- イ 個々の生徒に寄り添ったきめ細かな支援による教育相談体制の充実を図る。
- ウ 防災・防犯、感染症等に対する対応を含む取組みの推進を図る。

(3) 生徒の自主的活動の支援及び生徒の可能性を伸ばす教育の実践

- ア 「新しい生活様式」を取り入れた柔軟な学校行事・生徒会活動の充実を図る。
- イ 活発な部活動を通して人間力の向上をめざす。
- ウ 校内の環境整備及び設備等を充実することにより生徒の学習活動を活性化させる。

3 体育科設置校として、体育・スポーツ教育の推進をめざす。

(1) 体育科専門の授業を通して、トップアスリート・競技指導者等生涯を通してスポーツに関わる人材を育成する。

- ア 競技力の向上及び指導力の育成に積極的に取り組む。
- イ 体育の見方・考え方を働かせ、「する・見る・支える・知る」などのスポーツの多様な関わり方を自ら実践できる資質・能力を身に付ける。
- ウ スポーツ経験を生かし、生涯を通してスポーツの意義や価値を広めたり向上させたりすることができる人材を育成する。

(2) スポーツ拠点校として、地域スポーツの推進及び発展に寄与する。

- ア スポーツを通じて地域交流を積極的に行い地域貢献に努める。

4 学校力の向上

(1) 学校・家庭・地域とのより一層の信頼関係の構築

(2) 「学び続ける」教職員の組織的・継続的な育成

(3) 業務の工夫、効率化により超過勤務時間縮減と生徒と向き合う時間の拡充

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【生徒の結果と分析について】 〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」の肯定的な回答について、R5 90.6% と 85%以上を維持している。 ・「学校は、1人1台端末を効果的に活用している」の肯定的な回答について、R5 97.1% と 90%以上を維持している。 	<p>第1回（7月5日(水)） 【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度学校経営計画及び学校評価について ○令和5年度学校経営計画及び学校評価について <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の取組内容の概要について説明。 ・各担当より、進路実績、検診の状況、人権教育、SNSを活用した広報活動、体育科の取組みについて詳細を説明。

- ・「学校の進路指導は、進路選択・進路実現に役立っている」の肯定的な回答について、R5 86.5% と 80%以上を維持している。
- ・「学校内外で規律を守り、モラルある行動をとっている」の肯定的な回答 について、R5 98.7% と 95%以上を維持している。
- ・「個々の違いを認め合う人権を尊重する態度を身に付けるように取り組んでいる」 の肯定的な回答について、R5 95.4% と 95%以上を維持している。
- ・「学校行事に積極的に取り組んでいる」の肯定的な回答について、R5 94.6% と 90%以上を維持している。

〈分析〉

- ・1人1台端末の導入に伴い、新設された「学校は、1人1台端末を効果的に活用している」の肯定的な回答が昨年度と比べ、約5%上昇している。授業や課題提出に加え、アンケートなどさまざまな場面で活用している結果であると考えられる。一方で、端末利用による課題もあるため、対応策の検討が必要な部分を感じている。
- ・進路指導について、「学校の進路指導は、進路選択・進路実現に役立っている」の肯定的な回答は年々微増ではあるが、上昇中。今後、更なる上昇をめざし、進路 HR や保護者進路説明会などの充実を図る。
- ・人権意識については、「個々の違いを認め合う人権を尊重する態度を身に付けるように取り組んでいる」の肯定的な回答において 95%以上の高い数値を維持できているが、更なる人権意識の向上のため、人権 HR の充実や日常的な呼びかけの必要性を感じている。
- ・モラルに関する項目について、「学校内外で規律を守り、モラルある行動をとっている」の肯定的な回答において 95%以上の高い数値を維持できているが、実際は校内外でマナー違反に該当するような行動も見受けられる。今後は意識と行動の差をどのように埋めていくかが課題である。

【保護者の結果と分析について】

〈結果〉

- ・「学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている」の肯定的な回答について、R5 85.0% と 80%以上を維持している。
- ・「子どもは、学校内外で規律を守り、モラルある行動をとっている」の肯定的な回答について、R5 97.4% と 90%以上を維持している。
- ・「子どもは、命の大切さや社会のルールを守るように日常意識して行動している」 の肯定的な回答について、R5 93.9% と 90%以上を維持している。
- ・「学校は、子どもが相談しやすい環境が整っている」の肯定的な回答について、R4 67.9% R5 78.6% と昨年度に比べ、今年度は 10%以上上昇した。
- ・「学校は、いじめを防止するために、子どもにいじめをさせない環境づくりに努めている」の肯定的な回答について、R4 82.9% R5 85.7% と昨年度に比べ、今年度は約 3%上昇した。

〈分析〉

- ・「学校は、子どもが相談しやすい環境が整っている」の肯定的な回答が大幅に上昇をした。コロナ禍での制限が解消されたことが大きく影響しているのではないかと考えられる。
- ・「学校は、いじめを防止するために、子どもにいじめをさせない環境づくりに努めている」の肯定的な回答の割合が年々上昇している。R4年度から質問項目を変更してはいるが、学校では生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境を作れている。今後、さらに良い環境を整えるためにもより一層、生徒に人権意識や道徳心の向上にむけた働きかけを進める。
- ・学校教育自己診断の保護者の回答率が2割弱であることは、大きな課題である。質問の回答に関しては、web 上で保護者アカウントを利用したの回答を実施。保護者アカウントの使用状況は7割弱であり、今後アカウント使用率上昇のためにも入学式等でのアカウント連携作業などを実施することが必要である。

- スクール・ミッションについて
 - ・スクール・ミッション及びスクール・ポリシーについて説明。
- 令和6年度使用教科書について
 - ・令和6年度の3年生が使用する教科書について説明。
- 生徒状況について
 - ・各学年主任より、学年の生徒状況について情報共有。

【主な意見】

- 生徒指導について
 - ・遅刻の理由には寝坊等が多いことについて、睡眠教育を実施している学校もあると聞いているため検討してはどうか。
- 働き方改革について
 - ・長時間労働への対策をぜひ進めていただきたい。教員が魅力のある仕事であってほしい。
 - ・早く帰る傾向を受け入れやすい環境を整え、1人ひとりの業務削減をめざしてほしい。
 - ・働き方改革も必要だが、“教員”の職務ではそぐわない部分もあるのではないか。

第2回（10月25日(木)）

【実施内容】

- 令和5年度学校経営計画進捗報告
 - ・令和5年度の取組みおよび進捗状況について説明。
- 生徒指導の取組みについて
 - ・今年度の遅刻数やモラル・マナーの向上に向けたプラン、交通安全指導、校外交通安全指導、登下校の自転車事故について説明。
- 人権 HR 計画について
 - ・3年間の実施内容および計画を報告。
- 府立高校魅力発信プロジェクトについて
 - ・SNS での情報発信について、進捗と今後の予定を報告。
- 授業見学
 - ・授業を見学。
- 『スクール・ポリシー』について
 - ・グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについて説明。

【主な意見】

- 生徒指導の取組みについて
 - ・朝の登校時の様子を見る限り、摂津高校生の自転車通学者は悪いところが見当たらない。いつ見ても生徒たちがしっかりと交通ルールを守って、自転車運転をしている。
 - ・保護者が子どもの権利を主張するケースが多く、その際に生徒指導提言を持ち出して、指摘されるような保護者もいるので、意識を持っておいた方がよい。
- 人権 HR 計画について
 - ・人権 HR での内容を子どもが帰宅後に家で話していたので、生徒はそれなりに考えていると思った。家庭で話を切り出しにくい話題もあり、学校で指導をしてもらっていることは大変助かる。
- 救急救命講習会について
 - ・会社で AED を使用することがあり、救急救命講習の大切さを知った。119番をした後も救急隊員から適切な指示があるので、とても心強かった。生徒もいざというときに AED が使用できるようしっかり訓練を行うことは大切である。
- 授業見学について
 - ・テンポの良い授業の進め方で、各先生の使用ツールなど工夫されており、生徒にとってはわかりやすい。
 - ・小・中学校と違い授業者の声はずっと聞こえていたので、もう少し生徒の声を聞けたらと思うこと、ペアワークでは予想だけではなく、授業内容を深める話し合いなどができたらよい。

第3回（2月7日(木)）

【実施内容】

- 令和5年度学校経営計画の学校評価について
 - ・令和5年度の取組みおよび自己評価について説明。
- 令和5年授業アンケートの結果について
 - ・令和5年度の各項目における学校平均について報告。
- 令和6年度学校経営計画及び学校評価（案）について
 - ・めざす学校像や中期的目標について、令和5年度からの変更点を中心について説明。
⇒めざす学校像および中期的目標については、協議委員より承認をいただく。
- その他
 - ▶令和5年度卒業生の進路状況や学校生活について説明。
 - ▶ICT関連（デジタル採点システムや電子黒板対応プロジェクターおよび黒板）について報告。
 - ▶校内の工事状況について報告。
 - ▶スクール・ポリシーについて報告。

<p>【教職員の結果と分析について】</p> <p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「各教科において、教材の工夫や評価の在り方について話し合う機会がある」の肯定的な回答について、R5 89.3% と 85%以上を維持している。 ・「人権尊重に関する様々な課題等、教職員が話し合う機会がある」の肯定的な回答について、R5 59.3% と 80%以上を維持することはできなかった。 ・「教育活動全般において、体罰や各ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた指導が行われている」の肯定的な回答について、R5 76.4% と 80%以上を維持することはできなかった。 ・「生徒が相談しやすい環境をつくるように努めている」の肯定的な回答について、R5 88.7% と 85%以上を維持している。 <p>〈分析〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「各教科において、教材の工夫や評価の在り方について話し合う機会がある」の肯定的な回答が年々上昇傾向にあり、教科指導における ICT の活用や観点別学習評価の在り方などについて、授業改善委員会で毎回の職員会議後に研修を実施していた効果である。また今後は教科横断的な連携強化に努め、学校組織全体としての授業力向上をめざす。 ・人権尊重に関わる「人権尊重に関する様々な課題等、教職員が話し合う機会がある」の肯定的な回答が減少している。今後は、すべての教職員が自らの人権感覚を高めるとともに、あらゆる場面で人権意識を絶えず見つめ直しつつ教育活動を行えるよう、人権および人権問題に関する正しい理解を深めるために研修や勉強会の実施が必要である。 ・「教育活動全般において、体罰や各ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた指導が行われている」の肯定的な回答が、昨年度に比べ減少している。この結果より、教職員一人ひとりの人権尊重の意識に差があることが伺える。今後は、相互に資質を高め合う職場づくりに努め、指導力の向上を図りたい。 	<p>【主な意見】</p> <p>○授業アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの点数の高い先生の授業を、他の先生が見に行かれるなどの方策を取られると良いのではないか。 ・4.00 で満点なので、全体的に高い数値だと感じている。 <p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[生徒]「学校内外で規律を守り、モラルある行動をとっている」肯定的意見がかなり高い数値となっているが現実と伴っていないという学校側のご意見については、どこの学校も課題と捉えているのではないかと。 ・[保護者]学校からの情報発信に関する質問の肯定率について、保護者の興味関心のある内容を定期的に提供してはどうか。 ・[保護者]回答率について、中学校でも保護者回答率はGoogleフォームだと減少傾向にある。どうするかは共通の課題と認識している。 ・[保護者]回答率について、今更、紙での回答には戻しにくいと思うが、回答を増やすには紙での実施しかないのでは…。ただ、保護者で要望のある方は回答をいただいていると考えられるので、今の学校の取組みについて、概ね満足されており、特に訴えることがないため、回答率が伸びないのではとも考えられる。 ・[教員]人権尊重に関する質問の肯定率について、質問の仕方が受け身での聞き方になっているため、話し合う場を提供されたかどうかという解釈になっているのではないかと感じた。質問の仕方を改善された方がよい。 <p>○令和6年度学校経営計画及び学校評価（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像に関して、“社会奉仕”に関する内容を残していただいたことは、卒業生としてとてもありがたい。 ・めざす学校像が、校訓をもとにコンパクトでわかりやすいものになった。管理職のめざす学校像を教員も受け取りやすくなったと感じる。
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と進路実現	(1) 創意工夫にもとづく教育活動の充実	<p>ア ・「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。</p> <p>・「観点別学習状況の評価」の計画・実践(指導)・評価・改善の一連の活動を授業改善委員会を中心に信頼性と妥当性を高めより適切に進めていく。</p> <p>イ ・指導教諭を中心に、職員会議ごとに各教科からの実践発表を行い、学期に1回公開授業を行う。</p>	<p>ア ・学校教育自己診断(生徒)「授業で自分の意見をまとめたり発表する機会」85%以上を維持する【91.0%】</p> <p>・学校教育自己診断(教職員)「各教科において教材の工夫や評価の在り方について話し合う機会がある」85%以上を維持する。【86.0%】</p> <p>イ ・定期的な研修の実施回数(前年度以上)【6回】</p> <p>・公開授業3回</p>	<p>ア ・90.6% (◎)</p> <p>各教科で発表の機会が増えてきている。</p> <p>・89.3% (◎)</p> <p>次年度もさらなる発展のため、各教科での連携強化を図りたい。</p> <p>イ ・職員会議での研修 1学期…4回 2学期…4回 3学期…1回 計9回 (◎)</p> <p>・公開授業 11月(国語) ※パッケージ研修 11月(英語) 11月(情報) 計3回 (○)</p>
	(2) ICT の効果的活用	<p>ア ・学習クラウドサービスを中心としたグループウェア各種ツールの活用率の一層の向上を図る。</p>	<p>ア ・学校教育自己診断(生徒)「学校は1人1台端末を効果的に活用している」90%を維持する【92.2%】</p> <p>・情報利活用診断評価独自アンケート(生徒)〈4・12月実施予定〉において、項目「スライドの作成・発表」において0.5ポイント、「情報収集」において0.2ポイント、1回めより2回めの数値をあげる(4点満点)。また、総得点(24項目×4点)1回めより2回めの数値を10ポイント以上あげる。【新】</p>	<p>ア ・97.1% (◎)</p> <p>授業や課題提出およびアンケートなどさまざまな場面で活用できた。</p> <p>・「スライドの作成・発表」において0.47ポイント向上。(○)</p> <p>生徒は入学時点からある程度のスライド作成技術を有しており、そこからの上昇には限度があったため。</p> <p>「情報収集」において0.24ポイント向上。(○)</p> <p>総得点(24項目×4点)10.3ポイント向上(○)</p>

府立摂津高等学校

	(3) キャリア教育の推進	<p>ア ガイダンス、進路講演会を組織的・計画的に実施する。特に、1,2年生徒向けのガイダンス、進路講演会等を増やし、早くから進学意識を持たせ進路実現につなげる。</p> <p>イ 進路指導部が中心となり、進学希望対象(3年)の集中講座の継続実施により最後まで挑戦する生徒を育成する。特に難関大学、国公立大学を希望する生徒には個別講習を実施する。</p> <p>ウ 夏期集中講座(1・2年:複数日)の計画的実施により進路実現に対する意識の向上を図る。</p>	<p>アイウ・学校教育自己診断(生徒・保護者)「学校の進路指導は進路選択・進路実現に役立っている」肯定的回答率生徒・保護者ともに80%以上【生徒83.7%、保護者80.0%】</p> <p>ア ガイダンス、進路講演会を1年生生徒向け3回以上【2回】、2年生生徒向け6回以上【5回】に増やし、早くから進学意識を持たせ進路実現につなげる。</p> <p>イ ・難関私立大学合格者数を、前年度と同レベルに維持する。【95人/303人】</p> <p>ウ 事後アンケート「生徒満足度」数値90%以上を維持する。【96.5%】</p>	<p>アイウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒86.5% (◎) 保護者85.0% (◎) <p>今後、更なる充実をめざし、進路HRや保護者進路説明会等を計画し、実施する。</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生…4回 (◎) 2年生…7回 (◎) <p>進路意識を高めるガイダンスや進路講演会を実施した。</p> <p>イ 80/229人:延べ数 (○)</p> <p>【国公立大を含む】</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 80.0% (△) <p>進学意識の向上だけではなく、学習習慣の定着を目的に参加した生徒がいたため。</p>
2 人間性の涵養と安全安心な学校づくり	<p>(1) すべての教育活動を通じて、規範意識の醸成、自らを律し他人を思いやる心を育てる</p> <p>(2) 安全で安心な学校生活</p> <p>(3) 自主的活動の支援</p>	<p>ア 時間遵守、身だしなみ等、規範意識の醸成を図る。担任団を中心に、早めに保護者と連携した指導をおこなう。特に常習者については他の理由等がないかも含め丁寧に聞き取り指導する。</p> <p>イ 学校生活全般を通して必要なモラル、マナー向上のための啓発活動を集会やLHR時に積極的かつ継続的におこない、社会人としての素養を身に付ける。</p> <p>ウ 交通安全指導の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師による「交通安全指導」の開催等年に2回の「交通安全指導週間」を設け、登校時における自転車マナー順守の注意喚起を行い自転車事故の被害者・加害者にならないよう計画的な指導を行う。 <p>ア 人権教育学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招き人権LHRを行い、より身近な問題であることを気づかせ意識させる。 <p>イ 情報リテラシーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラルについて「情報」の授業をはじめ、行事前後等定期的に情報発信し【人よっての受け止め方の違い】や【多様な価値観】等に気づかせ情報社会における正しい判断、望ましい態度の育成を図る。 <p>ウ 教職員対象の救急講習会全員参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員全員が心肺蘇生法を身に付けいつでも実践できるよう準備する。 <p>ア 柔軟な学校行事と生徒会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が学校紹介ムービーを作成し、日々の学校生活を学校HP・説明会等広く情報発信し広報活動につなげる。 	<p>ア 遅刻数を前年度減にする。【856回】</p> <p>アイ 学校教育自己診断(生徒)「学校内外で規律を守り、モラルある行動をとっている」肯定的意見90%以上を維持する。【98.5%】</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の自転車による事故件数を0(ゼロ)にする。【13件】【新】 地域の学校・青少年指導員等で構成する「青少年対策連絡会」や近隣地域での意見聴取 <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断(生徒)「個の違いを認め合う人権を尊重する態度を身に付けるように取り組んでいる」95%以上を維持する。【96.7%】 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル授業後のアンケート「多様な価値観や受け止め方を想定し適切に考え行動するという思いにつながった」肯定的意見90%以上を維持する。【93.3%】 <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員の救急講習会参加100%を維持する。【100%】 <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断(生徒)「学校の行事に積極的に取り組んでいる」肯定的意見90%以上を維持する。【95.6%】 生徒会活動として学校紹介ムービーを作成し外部へ摂津高校の良さをアピールできたか。【新】 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 895件 (△) 1年生が多い。次年度はさらに生徒の意識向上のため働きかけ、指導していく。 <p>アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> 98.7% (◎) <p>モラルやマナー向上のための啓発活動をさらに積極的に行っていく。</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 11件 (△) 自転車同士の接触事故が多く、安全意識向上に向け、指導を継続する。 連絡会では各委員より、マナーがよくなったとの意見をいただいた。(○) <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 95.4% (○) <p>人権HRとして、拉致問題(3年)について、アニメ『めぐみ』の視聴および講話を行い、障がい者差別問題(2年)や性的マイノリティ(1年)については、外部講師を招き、講演会を実施した。</p> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 94.4% (◎) <p>他者を思いやる気持ちの向上につながる活動ができています。</p> <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> 100% (◎) <p>外部から講師を招き、講習会を実施。教職員全員が意欲的に参加した。</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 94.6% (◎) <p>コロナ禍で創意工夫を行ったことを踏まえ、新たな形での行事を実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の紹介ムービーを説明会で上映し、アピールできた、またSNSを活用した情報発信を実施できた。(◎)

府立摂津高等学校

		<p>イ 図書室の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見・解決の能力の基礎を身に付けることに加え、創造力や表現力を豊かにするため教科指導・総合探究・調べ学習に積極的に利活用する。 ・摂津市の図書関係者及び市内の小・中学校の図書担当との意見交換を行い更なる学校図書館の充実を図る。 	<p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の利活用頻度（教科・総合探究・調べ学習・グループ学習・委員会活動など）昨年度以上【35回】 ・摂津市及び近隣学校との交流が図れたか。【新】 	<p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・52回（◎）授業での調べ学習やグループ学習などでの活用が多かった。 ・今年度は交流活動の実施はなし。（△）
3 体育・スポーツ教育の推進	（1）体育科専門の授業を通しての人材育成	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スーパーインストラクター招へい事業」の活用により、トップのアスリートやコーチによる講演等を計画的に実施し、生徒のモチベーション及びスキルの向上につなげる。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学関係者による講義等を実施しスポーツの多様な関わり方を多方面から学ぶ機会をつくる。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー、ラグビー、女子バレーボール、男女バスケットボール、水泳、陸上の部活動の前年度以上の成績をめざす。 <p>アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科独自アンケート（生徒）「スポーツへの多様な関わり方の興味・関心が高まった」肯定意見 80%以上をめざす。【新】 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業等、大学教授による高大連携事業の継続が昨年度に続き行なえたか。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーは高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ1部7位、女子バスケットボールは第78回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会ベスト8、女子バレーボールは第76回全日本高校選手権大会大阪地区決勝ラウンドベスト16、男子バスケットボールは大阪府高等学校バスケットボール選手権大会ベスト32と4つの部活動で前年度以上の成績となった。（○） <p>アイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・92.5%（◎）1年生が90.0%、2年生が95.3%とともに目標を大きく上回る結果となった。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪成蹊大学から講師を招き、1、2年生を対象に出張講義を2回、大阪経済大学から講師を招き、2年生を対象に出張講義を1回実施していただいた。また、本校教員が大阪成蹊大学の講義に参加した。高大連携を計4回実施。（◎）
	（2）スポーツ拠点校として地域スポーツの推進を図る。	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣学校等の体育的行事に参画し企画・運営等を行い、指導力の育成を図る。 ・中学校の部活動を積極的に支援する。 ・スポーツ拠点校として、近隣中学校運動部を招き『SETTSU CUP』を開催し、本校体育科の教育活動の魅力を発信、地域スポーツの推進・発展に努める。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣学校等の体育的行事参加者の「満足感が得られたかどうか」肯定的意見 80%以上【新】 ・部活動支援した中学校の部活動数延べ80部以上を維持する【107部】 ・『SETTSU CUP』の開催部活動を3運動部以上を維持する【3運動部】 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%（◎）すべての参加者が満足するスポーツ大会を計画し、実施した。 ・部活動支援を行った部活動数延べ134部（◎） ・7月にラグビーと女子バレーボール、9月に男女バスケットボールの4運動部で実施。（◎）
4 学校力の向上	（1）学校・地域中学校との連携	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問、学校説明会及び出前授業等の更なる改善を図る。 ・本校の魅力を積極的に発信し丁寧な情報提供等を行うなど一層の充実を図る。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣中学校への出張学校説明会等の実施や学校説明会の新たな取組みができたか。【新】 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣中学校への出張学校説明会等は3回実施した。また、9月に豊中市の文化センターにて出張学校説明会を実施した。（◎）
	（2）教職員の組織的・継続的な育成を図る。	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育/教育相談 ・研修等を通して日常の生徒の言動にいち早く【気づき】ができるよう教職員のアンテナを常に高くして生徒対応ができるようにする。 ・教職員がそれぞれカウンセリングマインドをもって個に応じた適切な指導ができるよう外部指導者を招くなど生徒の支援体制の一層の充実を図る。 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断（教員）「人権尊重に関する様々な課題等、教職員が話し合う機会がある」肯定的意見 80%以上【65.5%】 ・教育活動全般において、「体罰や各ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた指導が行われている」肯定的意見 80%以上を維持する。【85.7%】 	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・59.3%（△）今年度、SSWSVを招いて、ヤングケアラーについておよび事象が起きた際のアセスメントについての教職員研修を実施した。また、外部講師を招き、合理的配慮に関する研修を実施した。 ・76.4%（△）今後は、相互に資質を高め合う職場づくりに努め、指導力の向上を図りたい。

府立摂津高等学校

	(3) 長時間労働の削減	<p>ア ・全校一斉定時退庁日とノークラブデーの遵守・徹底</p> <p>イ ・学年、教科等での教材等の共有化。</p>	<p>・学校教育自己診断（教員）「生徒が相談しやすい環境をつくるよう努めている」肯定的意見85%以上を維持する【89.5%】</p> <p>ア・全校一斉定時退庁日に生徒及び教職員が遵守できたか。【新】</p> <p>イ・教科間での教材の共有化ができていますか。【新】</p>	<p>・88.7%（◎） 「府立高校生の日常生活アンケート」の結果も活用し、引き続き、個に応じた適切な指導ができるよう生徒の把握を行う。</p> <p>ア ・毎週火曜日に全校一斉定時退庁日を実施できた。（◎）</p> <p>イ ・すべての教科で共有化を実施。今後、更なる拡充に向けて、各教科で検討する。（◎）</p>
--	--------------	--	---	--